

# 病虫害発生予察指導情報

## (ナシ・クワコナカイガラムシ No. 2)

令和3年6月23日  
鳥取県病虫害防除所

### 1. 情報の内容

クワコナカイガラムシ第一世代幼虫のふ化開始は、平年より11日早い6月22日（平年：7月3日）に認められました。昨年、果実被害が多く認められた園では防除を徹底してください。

### 2. 情報の根拠

- (1) クワコナカイガラムシ第一世代幼虫のふ化\*開始は、平年より11日早い6月22日（平年：7月3日）に認められた。
- (2) 卵のう内のふ化の様子及び今後の気象経過などから、第一世代幼虫のふ化最盛日は、平年に比べて6日早い7月3日頃（平年：7月9日）と見込まれる。

\*クワコナカイガラムシ第一世代卵のうからのふ化は、百葉箱内（園試）で観察。卵のうをシャーレ中央に静置し、その周囲に粘着物質を塗布、その粘着物質に捕獲された幼虫数を計数。卵のうは野外で採取。

### 3. 防除上注意すべき事項

- (1) 昨年被害の多かった園では、5～10日間隔で発生状況を確認しながら次の時期を目安に2回の防除を行う。

幼虫ふ化最盛期	7月3日～7月7日
幼虫ふ化終期	7月8日～7月12日

少発園では7月8日前後に1回防除を行う。
- (2) 薬剤はスミチオン乳剤1，500倍液、モスピラン顆粒水溶剤4，000倍液、ダイアジノン水和剤34の1，000倍液などを使用し、連用を避けて輪番散布する。
- (3) 薬剤の散布にあたっては、クワコナカイガラムシが集合する枝葉の他、枝の切り口、粗皮下などに薬剤が十分かかるようにする。
- (4) 農薬の散布にあたっては、農薬の使用基準を遵守する。